



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー (氏名) 徳野順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,612	4.8	73	179.3	73	158.6	87	
29年3月期第2四半期	1,694	3.8	26	75.2	28	73.6	28	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 45百万円 (%) 29年3月期第2四半期 37百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	21.04	
29年3月期第2四半期	6.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,314	5,580	88.4
29年3月期	6,593	5,838	88.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,580百万円 29年3月期 5,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,554	2.9	344	91.5	350	89.8	206	228.8	48.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	4,536,000 株	29年3月期	4,536,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	401,212 株	29年3月期	250,712 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	4,180,020 株	29年3月期2Q	4,315,889 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に概ね緩やかに回復しました。しかし、中小企業を中心とする人手不足への懸念や、米国のトランプ政権の政策運営・北朝鮮情勢の緊迫化など海外情勢の不透明感から景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、顧客の学習塾選別の目がさらに厳しくなっており、資本・業務提携等の動きが続いております。大学入試制度改革や教材の電子化等が進んでおり、新たな入試ノウハウや教材化等の対応を迫られております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、「体験と学習」の実践の場として理科実験授業や農業体験等を積極的に進めることと並行して既存教室の生産効率の見直しを徹底してまいりました。また、インターネットを活用した会員数増加のための仕組みづくりに取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高16億12百万円(前年同期比81百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益73百万円(前年同期比46百万円増)、経常利益73百万円(前年同期比45百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益87百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は6,110名(前年同期比1.8%増)となりました。この結果、売上高は11億29百万円(前年同期比27百万円増)となり、セグメント利益は88百万円(前年同期比22百万円増)となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業につきましては、子会社である株式会社日本体験センターを含む当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は7,913名(前年同期比20.9%減)となり、売上高は2億93百万円(前年同期比83百万円減)、セグメント利益は20百万円(前年同期比27百万円減)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億10百万円(前年同期比10百万円減)、セグメント損失は30百万円(前年同期はセグメント損失23百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は79百万円(前年同期比15百万円減)、セグメント損失は5百万円(前年同期はセグメント損失64百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は52億21百万円(前連結会計年度末比1億76百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億78百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は10億93百万円(前連結会計年度末比1億2百万円減)となりました。

これは主に、投資その他の資産が1億2百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は6億17百万円(前連結会計年度末比7百万円減)となりました。

これは主に、未払法人税等が15百万円増加したことと、その他(前受金)が34百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億16百万円(前連結会計年度末比13百万円減)となりました。

これは主に、繰延税金負債が18百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は55億80百万円(前連結会計年度末比2億58百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が83百万円減少したことと、自己株式の取得により純資産合計が1億32百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期末に比べ1億20百万円減少し、42億4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は32百万円(前年同期は13百万円の減少)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が1億48百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失4百万円)であったことと、投資有価証券売却益が77百万円(前年同期はなし)あったこと、法人税等の支払額が43百万円(前年同期は51百万円)あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は92百万円(前年同期は10百万円の減少)となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出が79百万円(前年同期は79百万円)あったことと、定期預金の払戻による収入が79百万円(前年同期は79百万円)あったこと、投資有価証券の売却による収入が1億22百万円(前年同期はなし)あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は3億3百万円(前年同期は3億14百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払額が1億71百万円(前年同期は2億19百万円)あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績につきましては、平成29年5月11日付で公表いたしました業績予想等を修正しておりますが、通期業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました数値と同額を予想しております。詳細は、平成29年10月27日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,135,268	4,957,216
受取手形及び売掛金	15,858	34,429
商品及び製品	113,158	105,692
原材料及び貯蔵品	13,967	14,986
その他	119,313	108,708
流動資産合計	5,397,566	5,221,034
固定資産		
有形固定資産	331,359	329,685
無形固定資産	35,846	37,183
投資その他の資産	828,922	726,822
固定資産合計	1,196,128	1,093,691
資産合計	6,593,695	6,314,725
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,069	26,480
短期借入金	250,000	250,000
未払法人税等	36,868	52,019
賞与引当金	55,737	56,800
その他	248,635	232,345
流動負債合計	625,310	617,645
固定負債		
退職給付に係る負債	76,018	80,171
資産除去債務	16,244	17,371
繰延税金負債	24,657	6,181
その他	12,803	12,703
固定負債合計	129,723	116,426
負債合計	755,033	734,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,758,767	5,675,307
自己株式	△238,853	△370,992
株主資本合計	5,762,314	5,546,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,920	15,838
為替換算調整勘定	18,426	18,099
その他の包括利益累計額合計	76,347	33,938
純資産合計	5,838,661	5,580,653
負債純資産合計	6,593,695	6,314,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,694,228	1,612,314
売上原価	1,175,842	1,069,222
売上総利益	518,385	543,091
販売費及び一般管理費	492,174	469,886
営業利益	26,210	73,205
営業外収益		
受取利息	496	502
受取配当金	1,490	1,702
受取賃貸料	963	815
その他	1,350	622
営業外収益合計	4,300	3,643
営業外費用		
支払利息	1,766	1,763
投資有価証券評価損	—	1,167
その他	161	9
営業外費用合計	1,928	2,941
経常利益	28,582	73,907
特別利益		
投資有価証券売却益	—	77,341
特別利益合計	—	77,341
特別損失		
固定資産除却損	1,289	2,704
減損損失	31,545	—
特別損失合計	32,834	2,704
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,252	148,544
法人税等	24,129	60,593
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,381	87,950
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,381	87,950

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,381	87,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,027	△42,081
為替換算調整勘定	△6,293	△327
その他の包括利益合計	△9,320	△42,409
四半期包括利益	△37,701	45,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,701	45,541
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,252	148,544
減価償却費	22,212	18,015
減損損失	31,545	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△3,250	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,453	1,063
受取利息及び受取配当金	△1,986	△2,205
支払利息	1,766	1,763
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,167
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△77,341
固定資産除却損	1,289	2,704
売上債権の増減額(△は増加)	△15,951	△18,571
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,290	6,446
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,893	△7,588
前受金の増減額(△は減少)	△17,637	△34,305
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,948	△3,155
預り保証金の増減額(△は減少)	△400	△100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,325	4,152
その他の流動資産の増減額(△は増加)	20,330	3,010
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,354	17,776
その他	△455	251
小計	5,504	61,627
利息及び配当金の受取額	1,915	2,176
利息の支払額	△1,767	△1,765
法人税等の支払額	△51,273	△43,047
法人税等の還付額	32,339	13,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,282	32,922
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△79,900	△79,900
定期預金の払戻による収入	79,900	79,900
有形固定資産の取得による支出	△7,836	△6,138
有形固定資産の売却による収入	—	1,997
無形固定資産の取得による支出	—	△7,165
投資有価証券の売却による収入	—	122,233
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△7,638	△17,354
貸付けによる支出	△3,000	△12,969
貸付金の回収による収入	8,403	12,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,071	92,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△94,900	△132,139
配当金の支払額	△219,264	△171,411
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,164	△303,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,152	△69
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△342,670	△178,052
現金及び現金同等物の期首残高	4,668,098	4,382,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,325,427	4,204,707

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,101,735	377,665	121,471	1,600,872	93,355	1,694,228	—	1,694,228
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	2,296	2,296	△2,296	—
計	1,101,735	377,665	121,471	1,600,872	95,651	1,696,524	△2,296	1,694,228
セグメント利益又 は損失(△)	65,759	47,806	△23,212	90,352	△64,141	26,210	—	26,210

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントの焼肉店事業において、当初想定していた収益が見込めなくなったことにより、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては31,545千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,129,382	293,698	110,731	1,533,812	78,502	1,612,314	—	1,612,314
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	1,411	1,411	△1,411	—
計	1,129,382	293,698	110,731	1,533,812	79,914	1,613,726	△1,411	1,612,314
セグメント利益又 は損失(△)	88,136	20,583	△30,002	78,716	△5,511	73,205	—	73,205

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。